

授 業 科 目		開講年次等	必修・選択の別	担当責任者
科 目 名 (コース名)	福 島 学	1 年後期	必修	藤野美都子
細目又はテーマ (ユニット名)	福島の魅力を知る			

概要／方針等

私たちの日常生活は、地域社会のなかで成り立っています。自分が属する地域社会を理解することは、社会の一員として当然の前提とされます。また、地域社会を理解することは、社会の一員としての自分を知ることにつながります。しかしながら、多忙な毎日のなかで、なかなか地域社会に目を向ける余裕がないというのも現実です。

そこで、福島の魅力ということに焦点を絞り、福島に対する理解を深めることをめざし、本授業を開講することにしました。福島の歴史・文化・産業等について理解を深め、魅力ある地域づくりに向けた営みについて目を向けることにより、「福島の魅力を知る」ことを、本授業の主たる目的とします。

学外から多数の講師をお招きし、多角的な視点から福島の魅力について、紹介していただきます。授業を通して、受講生が、自らの言葉で、福島魅力を語るようになることを期待します。さらに、地域への理解を深めた人は、主体的に地域づくりに関わるようになるといわれています。受講生が、将来、自分の属する地域社会への関心をもち、魅力ある地域づくりに関わるようになることを願います。

学 習 目 標

- 一般目標
- ① 多面的な観点から福島を知り、福島の魅力を理解する。
 - ② 自らが属する地域に関心を向ける態度を身につける。
- 行動目標
- ① 自分の出身地の魅力について説明できる。
 - ② 福島魅力を発見し、作り出し、展開する営みについて説明できる。
 - ③ 福島の歴史・文化を説明できる。
 - ④ 福島県立医科大学の歴史を説明できる。
 - ⑤ 福島の現在を知り、将来について語る事ができる。
 - ⑥ 福島魅力を自らの言葉で説明できる。

テ キ ス ト

参 考 書

- 丸井佳壽子ほか『福島県の歴史』（山川出版・1997年）
 福島県立医科大学『福島県立医科大学の歴史』（2006年）

評 価 方 法

授業への参画態度および提出課題により、総合的に評価する。

そ の 他（メッセージ等）

本講義では、受講生に幅広い教養を身につけてもらうことを目指します。受講後、受講生が自らの教養を主体的に深めていくことを期待します。

併せて、学外から多数の講師をお招きし、福島の魅力について紹介していただくので、「話を聞く態度」を受講生が身につけることを期待します。

授業計画

回数	月	日	曜日	時限	項目	内容(キーワード等)	担当者
1	10	25	火	IV	福島学オリエンテーション	地元学事始 自らの出身地の魅力を語る	藤野美都子
2	11	1	火	IV	福島県の魅力をつくる	県政運営という視点からみた福島の魅力	佐藤 雄平
3	11	8	火	IV	福島の水	猪苗代湖の水環境保全事業	中村 玄正
4	11	15	火	IV	福島祭	相馬野馬追	二上 裕嗣
5	11	22	火	IV	福島星空	浄土平天文台からみた星空	豊島 直紀
6	11	29	火	IV	福島人物	吉田富三	樋野 興夫
7	12	6	火	IV	福島の民話	実演：福島の民話	後藤みづほ
8	12	13	火	IV	福島の民俗芸能	音・写真・映像による福島の民俗芸能	懸田 弘剛
9	12	20	火	IV	福島海から世界の海へ	シーラカンス調査	岩田 雅光
10 11 12 13	12	21	水	I-IV	学外見学会	吉田富三記念館 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 社須賀川事業所	内田 宗寿 小林 利彰
14	1	10	火	IV	福島の伝統工芸	体験：土湯こけしの絵付け	陳野原幸紀
15	1	17	火	IV	福島の歴史	中世の福島	高橋 充

担当教員一覧

教員氏名	職	所 属	備 考
佐藤 雄平	福島県知事		
中村 玄正	名誉教授	日本大学	
二上 裕嗣	委員長	相馬野馬追保存専門委員会	
豊島 直紀	浄土平天文台長	福島市	
樋野 興夫	教授	順天堂大学医学部・大学院医学研究科	
後藤 みづほ	民話の語り部	森の民話茶屋	
懸田 弘剛	福島県文化財保護審議会委員		
岩田 雅光	グリーンアイプロジェクト	ふくしま海洋科学館	
内田 宗寿	名誉館長	吉田富三記念館	
小林 利彰	事業所長	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 須賀川事業所	
陳野原 幸紀	組合長	土湯温泉こけし工人組合	
高橋 充	学芸員	福島県立博物館	
末永 恵子	講師	人間科学講座	
藤野 美都子	教授	人間科学講座	

第1学年